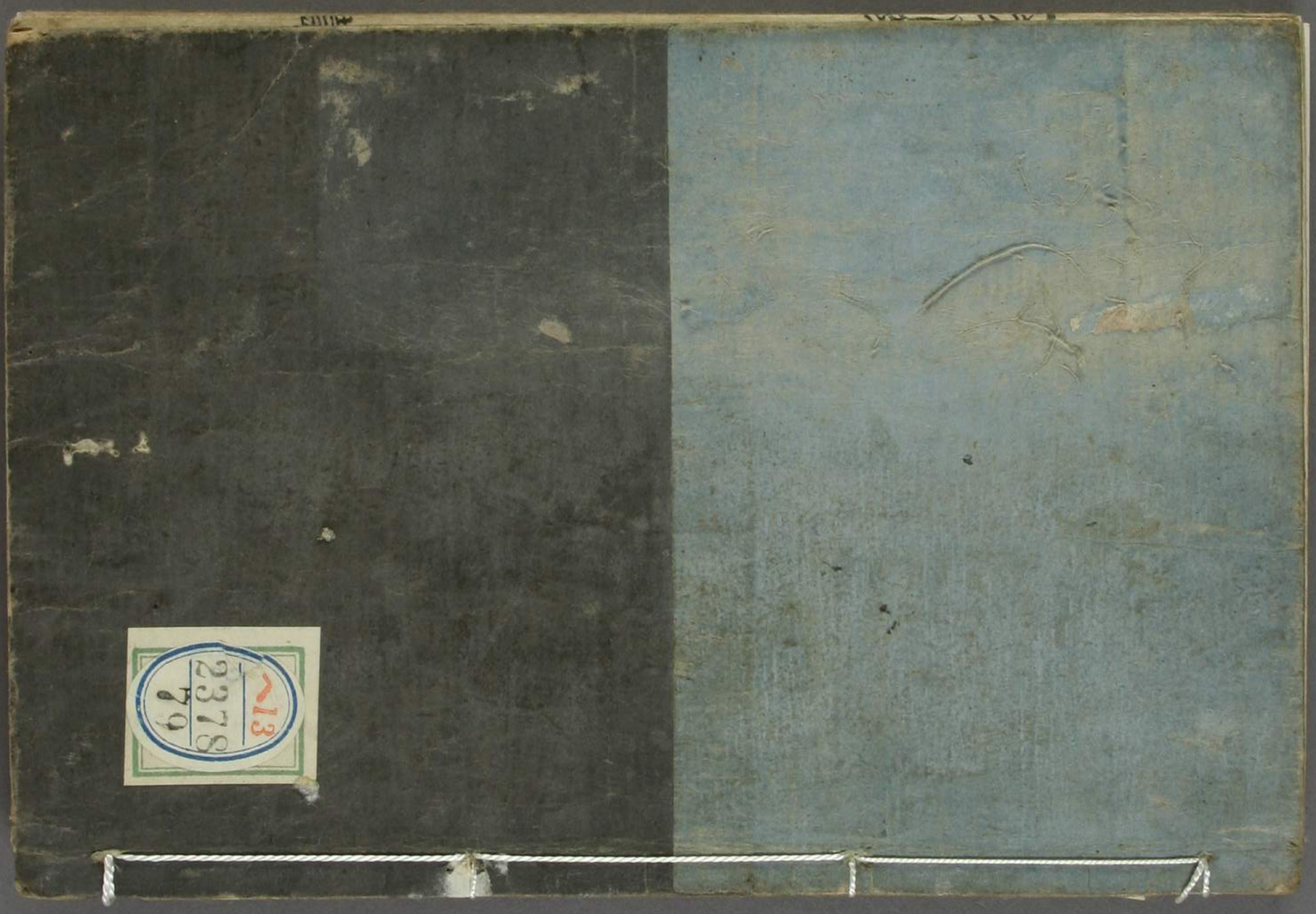


遠 3 2378

曲亭馬琴作

雁金屋采女
蠅屋袈裟節

照子池浮名寫繪

全編六冊 合巻二本

溪齋英泉画

錦森堂梓

いめ〻この人のいとく。百年も夫婦あり。一世の情人絶くなり。こゝに浣濁の情状をいくるの。男女の離合を。神所為欲皆是縁の有無ゑ。偖差の天縁わるゝば。情人必夫婦とゝなるん。所聞昔雁金屋の采女。遊女あり。情郎を添ふ。もゝ〻過世浅茅が露に不樂けん。名をそれとゝぎすも知る猿澤池ゑ。ゝめぎと。ゝゝる一歌を遺せ〻とぞ。歌のゝろを人麻呂の吾妹子が形見ゝれ髪を猿澤の池の玉藻とゝるぞかゝる。それゝ宮嬪采女を悼ゝ。名八同〻くその跡異之如今彼才と色とを取ゝず。ゝゝの天縁情義を善〻くして迷津ゝ一筏ゝ。あゝ遊君の鑑が池といふ。えゝわゝねども。勸懲の微意ゝゝゝ。

文政五年壬午春正月開版

曲亭馬琴識

蠅屋浄圓

みなと乃
可惜
ふるを
霜に
時ぶく
色里の花

魁蕾

傾城芦環

後ゝ衣七が妻
梭井

鎌倉の雑掌
塚見九郎次

夜の戸に
秋風たつと
犬蓼の
ほつれうつまた
人に恋ふる

国齋

木兎引
圖九郎

夏織屋紹七

雪霜を
うけつ
流して
香をけちに
鼻をつまめ
庭の錦梅

秋月菴牧之

塚見ぶ奴隷
辛平

塚見ぶ奴隷
池内

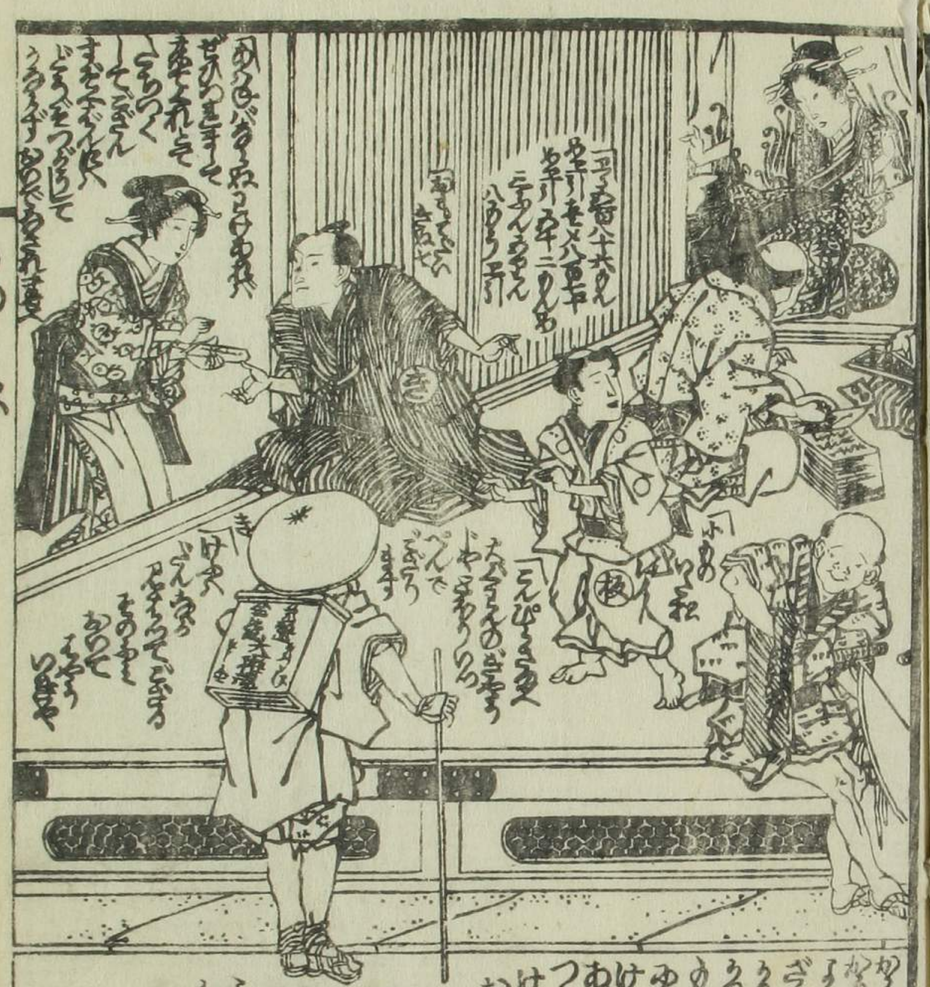
袈裟次郎が斧柄
毋

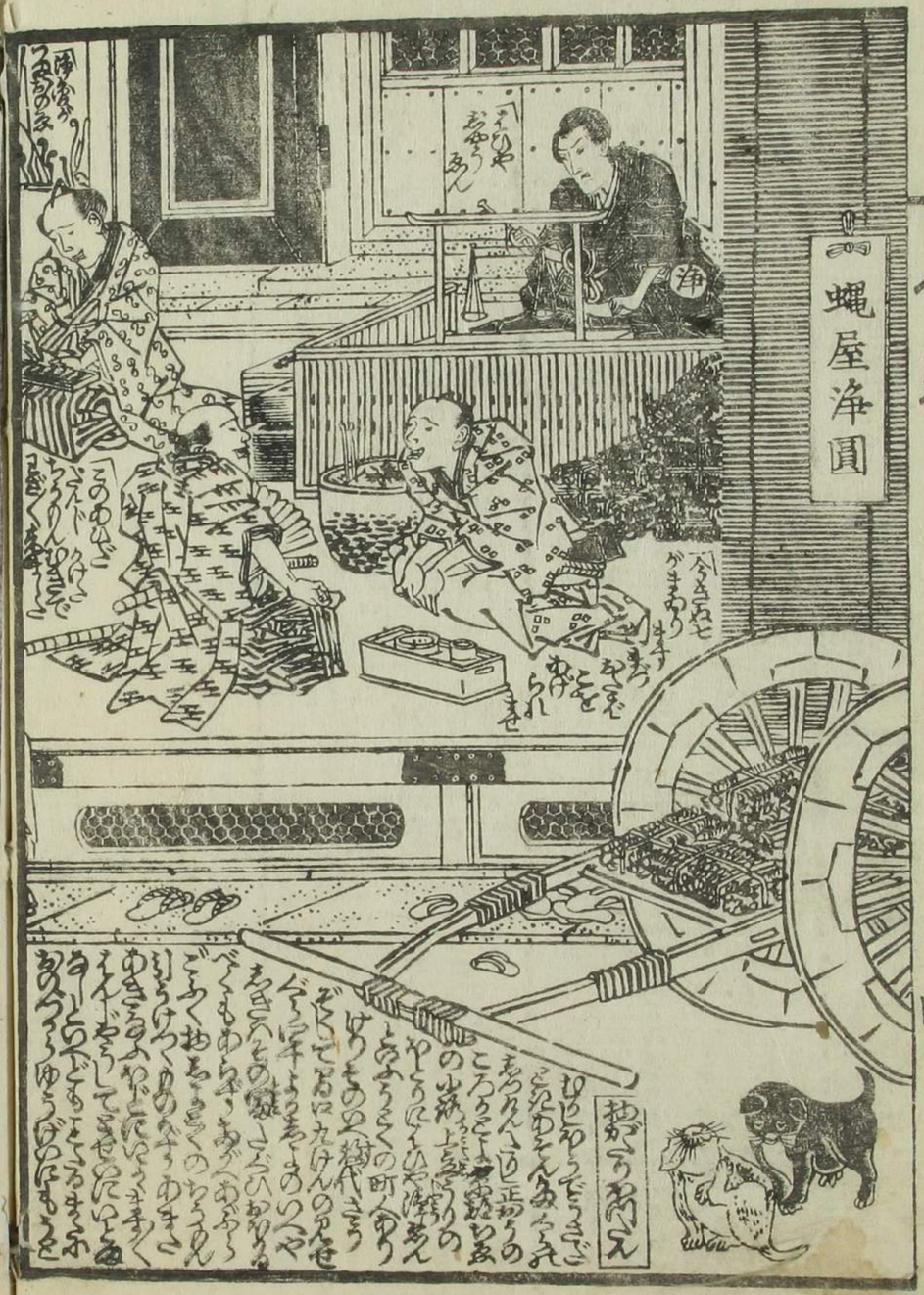
子をあやす
間よりぶつ
十原へ
知らぬ
海日の
月

逸竹齋達筑

蠅屋
福三郎

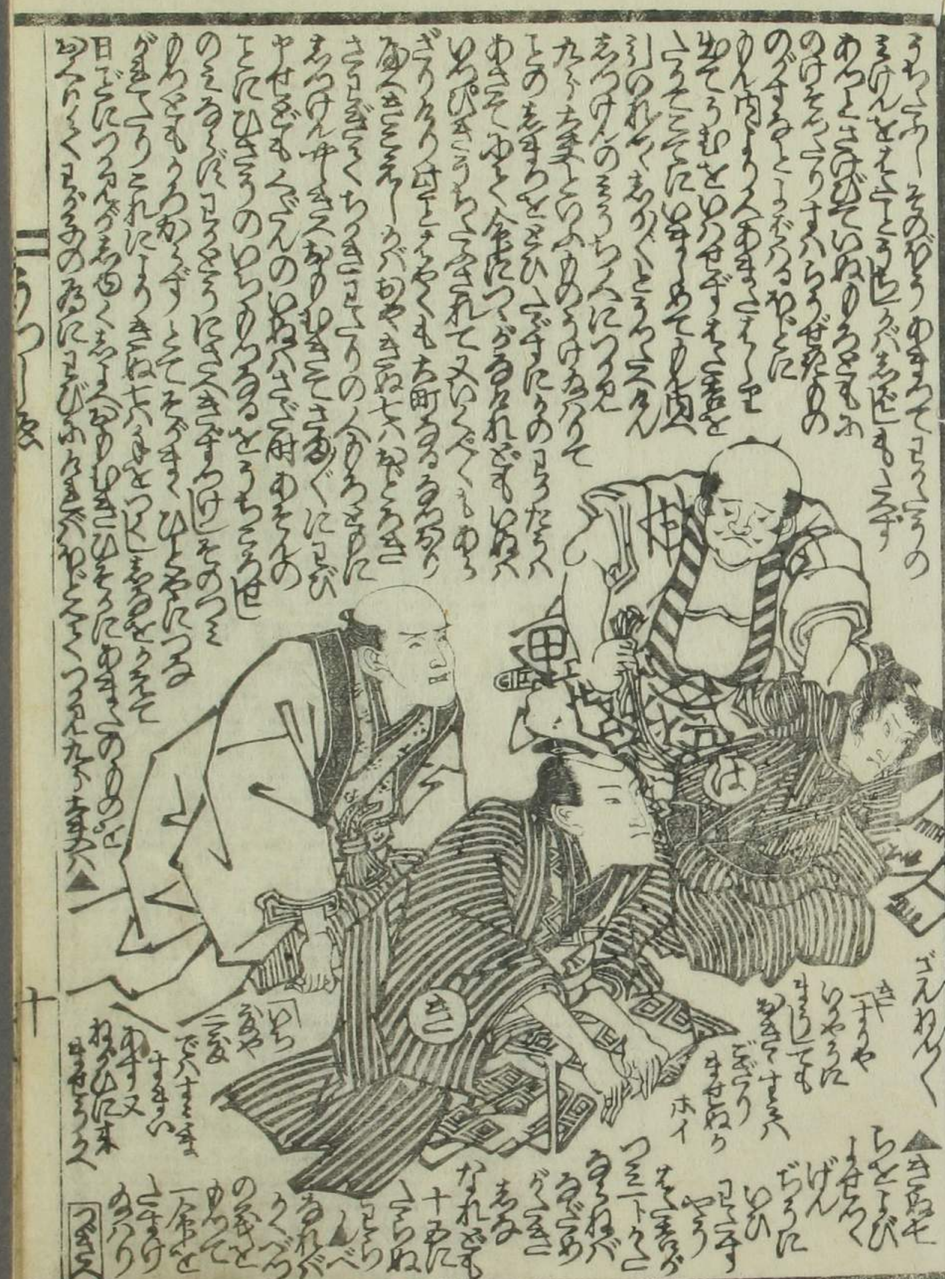
絹七ぶ女児
乙女
あを青・押の腰よ
きらめく
音の月
ゆめ
鈎カと
信天翁
悲人
魚名次
雁金屋采女
蠅屋袈裟次郎
時しあれば
枯るる枝よ
花ぐもり
雪のあけぼの
乃山
頼鳥齋




蠅屋浄圓
浄

諸國来朝挿

仙女香
万病丸
救命丸
暑寒年中丸
黒神丸
坂東武
町三丁め

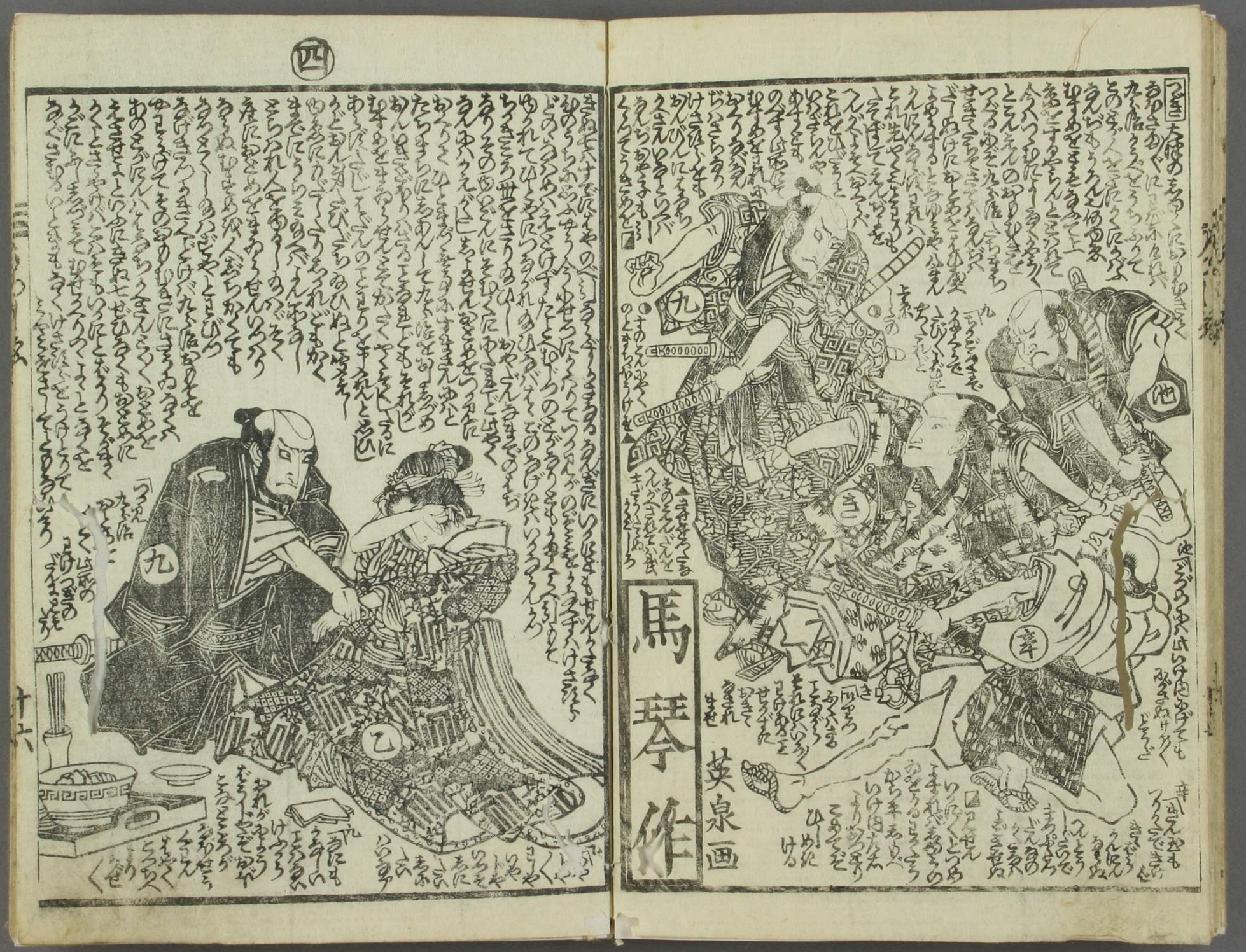


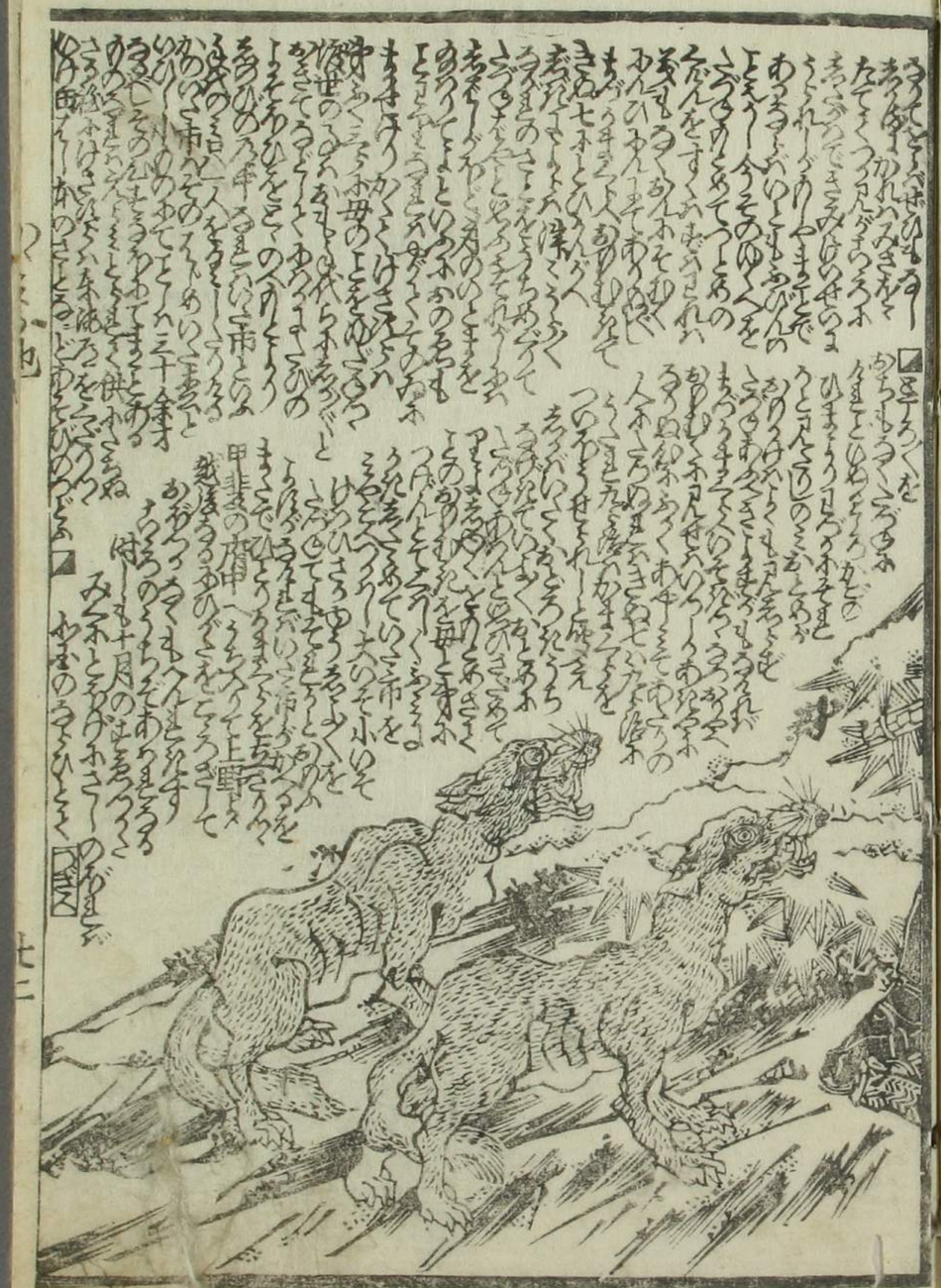
越後塩澤
人相手相
周易十八變
鈴木牧之
新吐屋
梅吉

け
き

福

九
き
乙
け
九


馬琴作
英泉画



板

は
け
圓
九

文政五午初春新板目録

曲亭馬琴作

照子池浮名寫繪 全六冊

歌川國貞画

山東京山作

操封度 全六冊

前 歌川國貞画
後 北尾重政画

美艶仙女香 全五冊

正説繪本 **孝貞勝誉効** 全五冊

前 勝川春亭画
後 歌川國丸画

調合賣弘所 三すめいろ町 板屋氏

黒白論濵眞砂 全五冊

歌川國信画

南志廼鶯 全三冊

歌川國丸画

地本問屋 馬喰町二丁目 森屋治兵衛